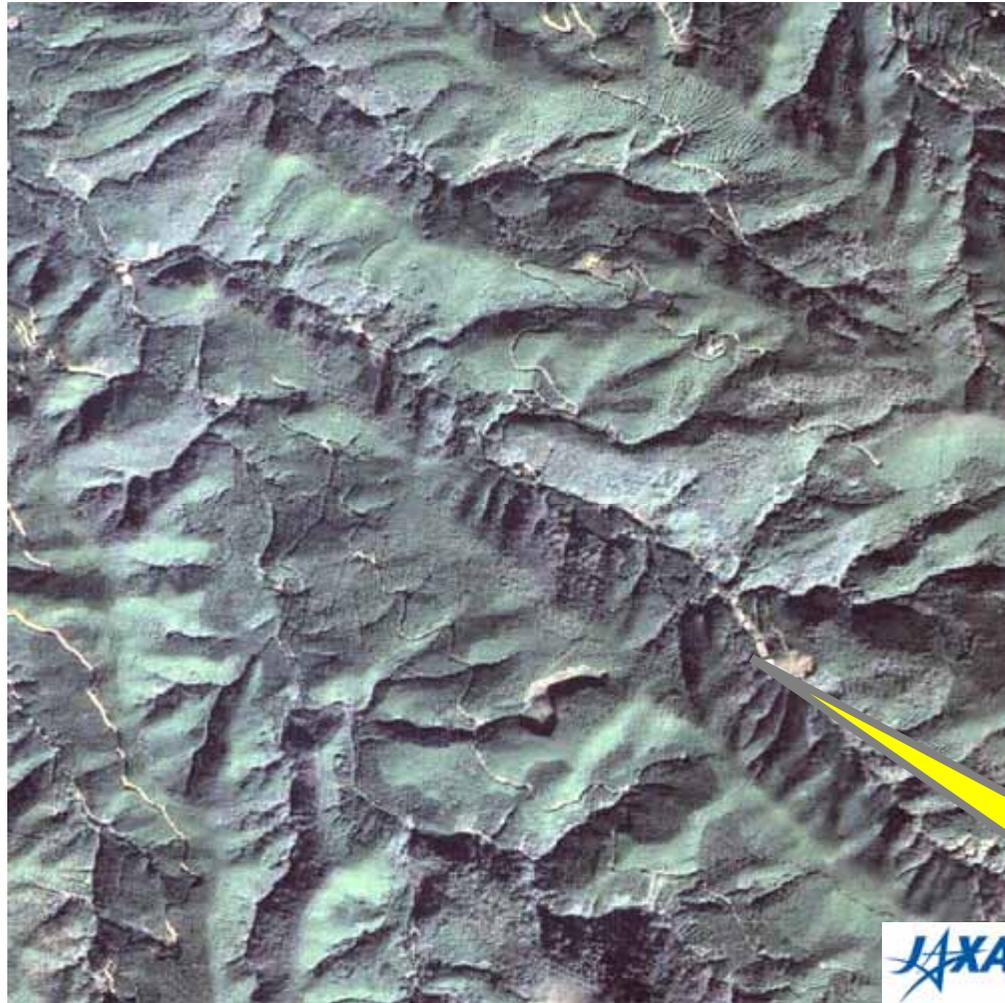


# 衛星画像の例 (ALOS)



ALOS(だいち)画像 (解像度:2.5m)

- 2006年に打ち上げられた国産衛星
- 最高解像度2.5m
- 安価な点が特徴 (25,000円~)

広範囲を確認できる

# 衛星画像の例 (SPOT)

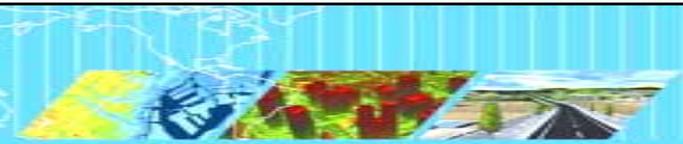


- 2002年に打ち上げられた民間衛星
- 最高解像度2.5m
- 観測頻度が高い点が特徴

広範囲を確認できる

SPOT画像 (解像度:2.5m)

# 衛星画像の例 (IKONOS)



IKONOS画像 (解像度:1m)

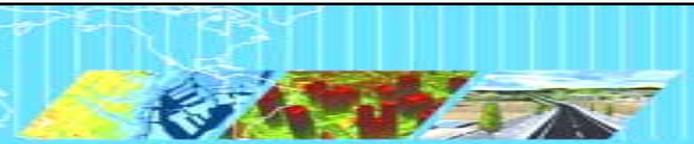


- 1999年に打ち上げられた民間衛星
- 最高解像度1m
- 商用高解像度衛星のパイオニア
- 森林GISの背景などで広く使われている

同じ性能の衛星画像として、QuickBirdも普及している。

林相が判別できる

# 衛星画像の例 (GeoEye-1)



- 2008年に打ち上げられた最新鋭の民間衛星
- 最高解像度0.5m
- 航空写真に匹敵する解像力

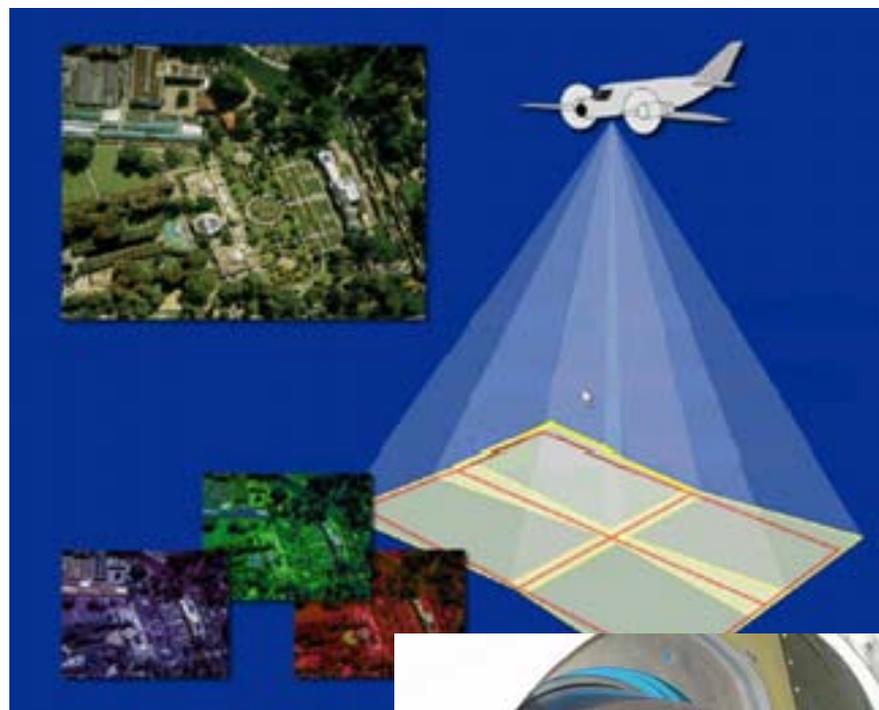
同じ性能の衛星画像として、WorldView-1も打ち上げられている。

単木が判別できる

出典: 日本スペースイメージング(株) Website  
(<http://www.spaceimaging.co.jp/gallery02/tabid/214/Default.aspx>)

GeoEye-1画像 (解像度:0.5m)

# デジタル航空カメラ (DMC) の特徴



- 高い**解像度**  
(最高解像度3cm)
- 鮮明な**画質**  
(12bit・4096階調)
- **赤外カラー画像**同時撮影
- 正射投影画像 (**オルソフォト**) の作成が容易に

